



3月議会報告

岩井康議員



2月26日から3月19日までの22日間で行われました。代表質問と個人質問が行われ、代表質問6名、個人質問6名が質問を行いました。また、2025年度1年間の予算を決める予算審査特別委員会が3日間行われました。

12月議会に継続審議になっていた
①政党機関紙庁舎内勧誘の庁舎管理規則禁止行為確認陳情」は、3月議会では全議員が反対し、不採択となりました。
②「学校給食費の無償化を早急を実現することを求める意見書」は、国に対して意見書を提出すべきと考え、岩井康・船橋優の両議院による議員発議を行い、岩井康が提案理由を説明し賛成多数で採択されました。
予算委員会に先立ち、1月9日には、2025年度の予算概要の説明があり、25年度は、3月議会では諸物価高騰に加えて、値上げラッシュという内容でした。
特に我孫子市は、国保

所得世帯の国保料(税)を軽減する「法定軽減」制度の我孫子市の状況

税を23年度7500円、24年度4500円、25年度は8300円と3年連続で値上げをするのとこのことです。千葉県内は54市町村ありますが、昨年2年連続で国保料を値上げしたのは6自治体で、25年度に3年連続で値上げをするのは、我孫子市を含めて3自治体です。他の51自治体の状況について調べたかについては明確な回答はありませんでした。ただ、答えられたのは県から令和12年までに法定外繰入をしない指導がされているため、25年度は8300円になるとのことでした。

岩井康議員は、次の質問し答弁を得ました。
■社会保障としての国保をより利用しやすくするために
①世帯の人数が多いほど国保料(税)が高くなる仕組みを無くすべき
答弁令和4年度より、子育て世帯の負担軽減の観点から、未就学児の均等割りか二分の一に減額されている。市が行う子ども医療費助成に係る国保の減額調整措置は、令和年度から高校生相当まで廃止になった。
②社会保障制度として低

所得世帯の国保料(税)を軽減する「法定軽減」制度の我孫子市の状況

答弁2月末現在、国保加入世帯1万6823世帯のうち、法定軽減世帯数は1万1051世帯で、加入世帯のやく66%。また、滞納世帯は、2737世帯で、加入世帯の16%。(健康福祉部長)

③協会けんぽ並みの保険料に
答弁均等割額及び平等割額は必要な時に必要な医療を安心して受けられるよう負担いただくもので、全ての被保険者の方に負担いただく必要があると考える。(健康福祉部長)
■令和7年度学校給食費の改定は、保護者の負担を軽減するために再検討を
答弁市学校給食会により市学校給食運営委員会が設置され、保護者の適切な給食費負担額についての検討会が行われた。学校給食の質や量を維持、確保していくためには、学校給食費を増額改定することが妥当との答弁を受け、学校給食費改訂となるため、値上げの減額について再検討は行わない。(教育長)
■公立保育園の令和7年度の値上げについて
答弁保育園給食の質や量を維持・確保するため、給食費のうち、おかずや

おやつ代である副食費と食材料費との乖離分を値上げし、1食あたり275円から333円とした。(星子とも部長)

船橋議員は、次の3点についての質問しました。



■上下水道の漏水・老朽化による道路陥没防止対策について
答弁点検と補修を行っている。緊急点検を行ったが、下水管、地上部に異常はない。(篠崎建設部長)
■建物の改修・解体工事による近隣住民へのアスベスト粉じん対策の強化を
答弁2006年以前に建てられた建物にはアスベストが使用されていることがある。解体に際しては、法律にもとづいた措置を行う。(山本環境部長)
■平和都市宣言に相応しい我孫子市に
答弁今年の市長の行進への参加はスケジュールを確認し調整する。防災無線での広島と長崎の原爆投下時刻の黙とう呼びかけは、防災無線の使用規定によりできない。(飯田健康福祉部長)

参議院選挙で比例区を守り、白石ちよさん(千葉県選挙区)を国会へ

今年7月に参議院選挙が行われます。去年、残念な結果に終わった衆議院選挙に学び、参議院選挙で必ず議席を増やす決意です。
比例代表では、改選4議席から1議席増の5議席をめざします。選挙区では、東京・埼玉・京都の現有議席を守り、複数区を中心に議席増をめざします。
自民党石破内閣は、相変わらず裏金問題に背を向けたままです。今度は、首相自ら商品券問題が浮上しました。ここまでくると、自民党の体質と言



石破首相が自民党の初当選議員15人に10万円づつの商品券を渡していたことが、いま大きな問題となつています。また当然ながら、この問題を受けて各紙世論調査では石破内閣の支持率が急落しています。
石破首相は、事実を認めた上で「ポケットマネーで用意した」「法律に抵触するものではない」「政治活動に関する寄付でなく、政治資金規正法上の問題はない」などと主張していますが、問題

の会合には首相公邸で開かれ、林官房長官や橋本青木両官房副長官が参加しており、会食に招かれた議員らも「政策について語り合った」「選挙について語りあった」と発言しており、どう考えてもこれは政治活動そのものではないと見られます。加えて、10万円の「お土産」商品券は、石破首相の秘書が首相の指示で、議員会館の各議員の部屋で受け渡しました。議員会館での受け渡しは議員の職務ですから、これま

(裏面に続く)

た政治活動にほかなりません。

自民党のベテラン秘書が「歴代総理が公邸で会食をしたら、事前に秘書が事務所に商品券を届けるとは慣習化していた。十万円という金額も相場通りです」と語ったこと

も報道されており、また岸田首相も十万円を配っていたというニュースが新たに流れたことから、政治資金規正法違反のこの慣習は、自民党の悪習だったことも明らかです。国民感覚とかけ離れた自民党の金権体質が改め

我孫子新春の集い

2月7日(金)、新木で、斎藤和子元衆議院議員と白石ちよ千葉選挙区候補を迎えて行われました。

斎藤和子さんは、裏金問題を「しんぶん赤旗」で報道し、与党を過半数割れに追い込こんだことの大さをひしひしと感していること。千葉県知事選挙候補の小倉正行さんは、国会議員の秘書をしていたことなどを話され、白石ちよさんは、高校卒業して就職し妊娠した時に、仕事を替えてほしいと会社に話をする



て暴かれたわけですが、首相自身が違法行為をしていたことになれば、石破内閣の総辞職は当然です。さらに、商品券の原資が内閣官房機密費ではないかとの疑惑も浮上しています。

しかし、日本共産党以外の野党は、石破首相が続投した方が参院選で自党に有利になるからと、石破首相の退陣要求や商品券の原資にまでは踏み込もうとしていません。しかし、それでいいのでしょうか？

自民党にとっては、裏

女子に相談するも、男子との賃金格差があると聞かされ、ジェンダー平等の問題にぶつかる。

その後、実家でたまたま見た赤旗新聞にデモをしている写真を見て、自分も声を上げなければと、現在に至っていることを明るく元気に話されました。

最後に、女性後援会の挨拶の後、全員で合唱し手作りの花束を二人に渡し、万歳三唱をして終了しました。

東後援会総会



金事件で国民の怒りが広がる中、首相自身が「政治とカネ」の問題を引き起こすという致命的な事態です。もはや、石破政権に「政治改革」を進める能力も政権を担当する資格もないのは明らかです。

3月23日、布佐で総会と市政報告会を行いました。

参議院選挙千葉選挙区予定候補の白石ちよさんから、3月に行われた千葉県知事選挙に、共産党の推薦を受け明るい会

ご案内

東後援会の行事 たけのこ掘り

- ◇期日 4月22日(火)
- ◇場所 門馬農園(君津市)
- ◇集合場所 布佐駅前東口駐車場
- ◇集合・出発時刻 午前7時 ◇交通手段 車の相乗り
- ◇料金 2000円(たけのこ代金)この他にガソリン代と高速料金は参加者で均等割りをし負担する。
- ◇締切日 4月19日 参加希望の方は下記へ連絡
田村 090-2914-4067 加藤 090-5820-1587
※昼食と飲み物は各自ご準備をお願いします。



今年は戦後80年、他団体の催し物

我孫子憲法を考える会市民の集い

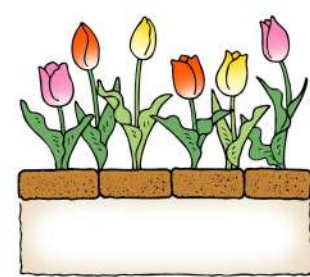
- ◇日時 4月29日(祝)午後2時から4時
- ◇場所 あびこ市民プラザホール
- ◇講演 核兵器も戦争もない世界へ
— 日本被団協、ノーベル平和賞授賞式、そして今後の課題 —
- ◇講師 家島昌志さん(日本被団協代表理事)
- ◇参加費 500円(高校生以下無料)

から立候補した小倉正行さんは、水道料金20%値上げ反対を中心に、大企業優先の開発ではなく、県民の命と暮らしを守ることを優先にすべきと訴えて選挙戦を戦いました。が、残念ながら当選することが出来ませんでした。

参議院選挙まであと14週間しかありませんが、千葉県民が安心して暮らせるよう頑張ってください。どうぞ今後も応援よろしくお願いたしますと挨拶されました。

船橋優議員は、埼玉県八潮市の下水道管破裂被害を受け、我孫子市でも下水道管検査を実施した方がよいのではないかと水道料検針を毎月実施していたが、今後は2カ月に1回実施する計画でなる。漏水しているところからない場合もあるので、毎月実施することが大切である。出来なければ、各家庭に水道検針板を定期的に点検するよう呼びかけたほうが良いと話しました。

岩井議員は、国保料値上げを3年間続けてすることは、国保は世帯の人数が多いほど国保料が高くなる仕組みなので、子どもの均等割りは無くすべきである。我孫子市の場合どうするのか。国は社会保障制度として低所得世帯の国保料を軽減する「法定軽減」制度を設けているが、我孫子市の状況はどうなっているのか。また、小中学校と公立保育園の給食費値上げについて、再検討するよう市側に求めたことが話されました。



日本共産党発行

しんぶん赤旗

日刊●月 3497円
日曜版●月 990円

無料法律相談

東葛事務所の弁護士による相談です。相談のある方はご連絡をお願いいたします。

相談日 毎月第4木曜日 14:00~16:00
場所 岩井事務所
連絡先 090-7250-7213